長渕剛の怒りを聞け

震災「憎い」…メッセージ『復興』発表

音楽家長渕剛（54）が3日、東日本大震災への激しい怒りと再起への決意を込めた散文詩「復興」を発表した。「憎い　憎い」で始まる1055文字の長編で、尊い命やふるさとを奪った津波を呪うも、ひるまない人間の絆と強さを表現した。長渕はこの日、被害の大きかった岩手、宮城、福島など6県へ向けた被災地限定ラジオ番組を制作し、7日から放送を開始することも発表した。

被災地へ向けて ラジオ番組も制作

「思いをぶちまけろ」

一気に書き上げた。言葉があふれ出た。長渕は散文詩を書いた理由を「自分のことだから」と言う。対岸の火事ではない。だから、この詞が生まれた。

3月11日、長渕は都内の事務所で打ち合わせ中に大きな揺れを感じた。スタッフの安全を確認し、すぐに非常階段で避難。駐車場で空やビル、揺れ続ける電線を見上げ、動けない自分に無力を感じた。情報が欲しくてテレビに見入った。「歌手なのに、歌っている場合じゃないと思った。同じ悲しみを共有したいと思った」。

しばらくして「怒り」がこみ上げてきた。地震や津波の天災だけにではない。一部で人災とも批判される原発事故でも、被災地の人々は耐え続けている。だが、政治家もテレビに出る知識人も「今、私たちのできることは…」と、普通の言葉で話す。長渕は「なぜ抑えながら話すのか。絵空事ではない怒りや恐怖や、思いをぶちまけろ」と思った。

そして「復興」の散文詩は生まれた。

「俺みたいな人間がしゃしゃり出て不謹慎かもしれないが、近々、被災地に行きたいと思っている。そして、立ち上がる人々と共にいたい。必ず、行くから」と誓った。

【笹森文彦】

「復興」

憎い
憎い　自然が憎い
私は　海が憎い
憎い　憎い　私は
たわむれ　優しく　大きく
恐くて憎くて　たまらない
こんなに　あなたを　愛して
なぜ　海よ　あなたは　私たちを壊す？
なぜ　何もかも奪い去る？
私たちが　こんなにひどい事をする？
私たちの営みは　何をした？
先人たちの教えを守り　父のような海だったのに
繁栄に　あぐらなど　かかず　絶対に許さない
せっせせっせと汗水唾らし　生きてきたのに
大地と海に敬礼し漁に出た　畑も耕した
陽が沈む水平線に　しあわせの涙を少しだけ流し
ささやかな営みに　家族と笑い
白き鳥のさえずりを追いかけ
嘘をつかずに懸命に生きてきた
なのに海よ　なぜにあなたは私から全てを奪った？
私たちが狂ったのか　全て悪いのは私たちなのか
いいや！　ちがう！　決してちがう！　私は言おう
地球よ　貴様が狂っている　あなたが　狂っている
あなたに　わかるか？
あなたに私の想いがわかるか？
小高い丘の上から
ただそれを見つめることしかできなかった無力な私の想いを
私たちの親が…　友人が…　そして
愛する我が子が…
犬の太郎も家も机も写真も何もかも
貴様が犯した濁流に飲み込まれた
私は…　私には…
そんな私の想いに海よ　あなたは何と答えてくれるのですか
海よ　貴様は　どう答えてくれる？
どう答えるかと聞いているんだ！
そうやって　ただ黙り
何もなかったように今日もおだやかをよそおっている
はっきり言おう
いいか　海よ
私たちは貴様から決して逃げはしない
私たちは連帯という武器を今　首にかけ
静まりかえった貴様のふところへ
壊れた船であろうとも　さらに両の手で漕いで生く
私たち人間の力をみくびると
ただではおかない
そして　さらに
私たちは強固な絆を結び
まもなく立ち上がる
そして叫ぶ
家族を返せ！
友を返せ！
家を返せ！
ふるさとを返せ！
犠牲になった命の破片を
高らかな怒りの帆に吹き付け
今　狩りに出かける
自然よ　海よ　大地よ　空よ
覚えておくがいい
俺たち漁師は　貴様が思っているほど弱くはない
私たち農夫は　貴様が思っているほど軟ではない
屈強な精神と肉体に
まもなく「覚悟」を宿らせる
そして怒る　わめく　叫びちらすのだ
『生きる覚悟があるのだ！』と
一国心中などなるものか！
今こそ　このむごたらしい現実を直視したからには　瞳をそらさず
ゆっくり立ちのぼってくる生き物の息吹に手を打ちならそう
どんなにささやかでもいい
勇気ある小さな者たちを　どんどんグングンたたえるのだ
共に拳が上がったら　一目散に駆け上がれ
生存せよ！　の方向へ駆け上がり
立ち向かうのだ
たとえ　それが自然という憎き相手でも
私たちは決してひるまない
憎くても
怖くても
許せなくても
それでも
私たちは　あの場所を
この国を
愛してやまないのだから

音楽家長渕剛

「不謹慎かもしれないが 被災地行きたい」

代弁者になる

○…長渕の発案で被災地限定ラジオ番組「長渕剛　RUN FOR TOMORROW～明日へ向かって」が制作される。「絵がなくても言葉でつながれる。被災者の代弁者に」という。番組は被災地でもある千葉・bayfmなどの協力を得て制作。第1回の収録がこの日行われ、bayfmで、7日午後10時からスタート。FM青森、FM岩手、FM仙台、FM福島、茨城・水戸市のFMぱるるんなど6県9局で順次放送される。放送時間は各局によって違うが、長渕は「踏み出したら走り続けなければ」と最低でも半年は続ける予定という。番組冒頭で散文詩「復興」が朗読される。